

非意図的生成 POPs 削減に向けた最良技術



「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 (POPs 条約)」履行のため、利用可能な最良の技術 (BAT: Best Available Techniques) と環境のために最良の慣行 (BEP: Best Environmental Practices) に関する第 3 回専門家会合が、UNEP 主催、環境省の運営協力により、2004 年 10 月 11 日から 16 日まで東京港区の高輪プリンスホテルで開催されました。

POPs 条約は、環境中での残留性が高い PCB、DDT 等の 12 種類の化学物質を対象とした条約です。対象物質の製造・使用禁止、排出削減措置についての国内実施計画の策定、対象物資を含むストックパイル・廃棄物の適正管理などがもりこまれており、2004 年 5 月に発効しています。

今回の会合には先進国、途上国、国際機関から専門家 41 名が参加しました。

特にダイオキシン類など非意図的に生成される残留性有機汚染物質排出削減・廃絶に向けた BAT・BEP の指針案がまとめられました。

この指針案は、締約国に作成が義務づけられている「非意図的生成残留性有機汚染物質に関する削減・廃絶行動計画」の中で考慮すべき指針の 1 つとして想定されているもので、ダイオキシン類などを排出させない排煙浄化法の改善、廃棄物・下水汚泥のよりよい処理法、工程変更、燃焼効率の向上などを推奨しています。

なお指針の内容の最終的な採択は 2005 年 5 月開催予定の POPs 条約第 1 回締約国会合で行われる予定です。

資料: 2004 年 10 月 18 日付 EIC ネット

機器分析箇所 関 善行

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 埼玉県さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817
URL: www.knights.co.jp

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第 20 条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

